



(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第三千八百七十三號

昭和十六年八月十六日(土)
海軍大臣官房

○ 通 牒

官房機密第三〇九一號ノ九

昭和十六年八月十五日

海軍省 副官

各廳長 殿

郵便物ニ關スル件申進

官房機密第三〇九一號通牒首題ノ件別冊郵便物ニ關スル例規中左記ノ通改メラレ候

記

附錄部隊區別符表末尾ニ左ノ如ク加フ

第五海軍航空廠分工場 八六

經豫機密第三號ノ四六

昭和十六年八月十五日

海軍省 經理局長

關係各支出官吏
關係各資金前渡官吏 殿

海軍公報 (部内限) 第三千八百七十三號

昭和十六年八月十六日

一〇七五

佛印ニ於テ要スル外貨ノ受領方法ニ關スル件通牒

首題ノ件ニ關シ本月一日經豫機密第三號ノ四〇ヲ以テ通牒致置候ピアストル貨ハ橫濱正金銀行河内出張所ノ外同西貢出張所ニ於テモ國庫金送付手續ニ依リ受領シ得ルコトト相成候條了知相成度

○ 辭 令

海軍主計少佐 兒 玉 茂

御府獻納品銓衡委員會委員ヲ命ス

海軍航空本部造兵監 督官海軍機關大佐 山下 茂治

大阪監理官兼神戸監理官ヲ命ス

大阪監査官兼神戸監査官ヲ命ス

海軍艦政本部造船監督官兼 造兵監督官海軍機關大佐 石 崎 忠 三

東京監理官ヲ命ス

東京監査官ヲ命ス

<p>海軍航空豫備學生（整備科）ヲ免ス 上畑 清郎</p>	<p>遞信局事務官 大森 秀夫</p>	<p>第七海軍軍用郵便所長ヲ免ス 通信書記 鐵田 義雄 事務員 橋本 清 集配員 飯尾 靜雄 同 平野 勝次 同 古場 佐七</p>	<p>第七海軍軍用郵便所員ヲ免ス（以上ハ海軍省）</p>	<p>○雜款</p>	<p>○旗艦變更 第一潜水戰隊司令官ハ旗艦ヲさんとす丸ニ變更セリ</p>	<p>○司令潜水艦一時變更 第一潜水隊司令ハ八月九日司令潜水艦ヲ一時伊號第十五潜水艦ヨリ伊號第十七潜水艦ニ變更セリ</p>	<p>○郵便物發送先 當廠（所在地區別符五〇）分工場及（所在地區別符八六）分工場宛書類ハ當分ノ間左記ニ依リ發送相成度</p>
<p>應 名</p>	<p>普通郵便物 航空郵便</p>	<p>記 事</p>	<p>○事務所設置 第五海軍航空廠（所在地區別符五〇）分工場及同（所在地區別符八六）分工場事務所ヲ八月一日第五海軍航空廠内ニ設置シ事務ヲ開始セリ 立石艦裝員事務所ヲ八月十二日兵庫縣相生町播磨造船所内ニ設置シ事務ヲ開始セリ</p>				
<p>第五海軍航空廠</p>	<p>橫須賀郵便局 氣付壹八六 坂川正吉</p>	<p>同上</p>	<p>一、軍事郵便（朱書）ノ指定ヲナス 二、封筒ニハ職名及職名の絕對ニ表示セザルコト</p>	<p>第五海軍航空廠</p>	<p>橫須賀郵便局 氣付壹八六 石川久能</p>	<p>同上</p>	<p>（第五海軍航空廠）</p>

○艦船所在 ▲印ハ「ハホ」ノ指定ヲ要セズ

八月十六日午前十時

【横須賀】

春日▲、劍埼▲、山城▲、▽神威、常磐、翔鶴、能登呂▲

伊二六、伊四、伊五、伊九、伊二四、伊一九、伊一五、伊一八、伊三三

【長浦】

津輕▲、(伊二三)▲、(伊三三)▲、(伊三七)▲、萩風▲、嵐▲

呂六一▲、呂六二▲、哨一▲、哨二▲

【芝浦】

筑紫▲、(筑紫)▲、(筑紫)▲、(筑紫)▲

【横濱】

秋雲▲、(秋雲)▲、(秋雲)▲、(秋雲)▲

【館山】

石垣▲、(石垣)▲、(石垣)▲、(石垣)▲

【大湊】

驅潛一五、驅潛二三、驅潛二四

【吳】

淺間▲、八雲▲、鬼怒、阿武隈、摩耶、加古、北上、古鷹、大井

夏潮、▽初雪、白雪、吹雪、▽夕霧、朝霧、天霧、狹霧

呂五七▲、呂五八▲、呂五九▲、▽伊五三▲、伊五四、伊五五▲、▽伊五八▲、伊三三▲、伊七〇、伊六六▲、▽伊七三、伊七一、伊七二、▽伊五六、驅潛特五一▲、驅潛特五二▲、驅潛特五三▲、哨四六▲、哨三四、哨三五

【大坂】

樺野、隱戸、開富、鶴見、石廊、(日進)▲、(伊二七)▲、(伊三五)▲、(伊七六)▲、(瑞鶴)▲、(伊良湖)▲、(伊二〇)▲、(伊二五)▲、(伊三三)▲、(伊四二)▲、(伊一一)▲、(伊一九)▲、(驅潛一九)▲、(伊六〇)▲、(驅潛二〇)▲

【相生】

朝日、(朝日)▲、(朝日)▲、(朝日)▲、(朝日)▲

【德島】

鳳翔、(鳳翔)▲、(鳳翔)▲、(鳳翔)▲、(鳳翔)▲

【別府灣】

那智、(那智)▲、(那智)▲、(那智)▲、(那智)▲

【佐伯】

夕風、(夕風)▲、(夕風)▲、(夕風)▲、(夕風)▲

【伊豫灘】

千代田、(千代田)▲、(千代田)▲、(千代田)▲、(千代田)▲

【舞鶴】

吾妻、(吾妻)▲、(吾妻)▲、(吾妻)▲、(吾妻)▲

【佐世保】

薄雲、(薄雲)▲、(薄雲)▲、(薄雲)▲、(薄雲)▲

【加賀】

襟裳、(襟裳)▲、(襟裳)▲、(襟裳)▲、(襟裳)▲

【白鷺】

加賀、(加賀)▲、(加賀)▲、(加賀)▲、(加賀)▲

一〇七七

海軍公報(部内限) 第三千八百七十三號

昭和十六年八月十六日

0501

【西戸崎】

【鎮海】

哨三九、哨三八
敷島▲
(伊二四)▲ (伊二九)▲ (伊三九)▲
野島
野分、戸朝顔、芙蓉、舞風
驅潜一六
宇治、安宅、二見、伏見、比良、熱海、
鳥羽、勢多、堅田、保津、岡田、戸足柄、
八丈、古守、嵯峨、橋立、戸磐手、戸名取、
戸長門、陸奥、戸日向、伊勢、扶桑、
金剛、戸川内、戸高雄、鳥海、愛宕、衣笠、
戸青葉、戸妙高、羽黒、戸熊野、三隈、最上、
戸鈴谷、戸利根、筑摩、戸那珂、戸長良、
戸巖島、八重山、戸長鯨、初鷹、白鷹、蒼鷹、
戸鹿島、天龍、戸夕張、戸迅鯨、戸香取、
戸大鯨、戸五十鈴、戸赤城、戸蒼龍、戸龍驤、
戸千歳、瑞穂、球磨、勝力、戸香椎、戸神通、
駒橋

栗、梅、蓮、刈萱、戸秋風、太刀風、戸春風、
羽風、朝風、旗風、松風、戸文月、阜月、
水無月、長月、戸曉、響、雷、電、戸潮、曙、臘、
漣、戸吳竹、早苗、若竹、戸綾波、磯波、
敷波、浦波、戸若葉、初霜、子日、初春、
戸大潮、荒湖、戸夏雲、峯雲、朝雲、山雲、
朝潮、戸早潮、親潮、戸雪風、時津風、
天津風、戸初風、戸霞、不知火、霞、陽炎、
村雨、五月雨、春雨、戸海風、江風、山風、
涼風、戸谷風、浦風、磯風、濱風、戸汐風、

帆風、矢風、追風、疾風、夕風、戸朝風、
戸如月、睦月、望月、彌生、戸神風、沼風、
野風、波風、満潮、戸菊月、夕月、卯月、
峯風、沖風
戸鶴、鴻、隼、鴨、戸雁、雉、真鶴、戸初雁、
女鶴、千鳥

戸呂六三、戸呂六四、戸呂六八、戸呂六五、戸呂六六、
戸呂六七、戸伊二、戸伊一、戸伊三、戸伊六、戸伊七、
戸伊八、戸伊二〇、戸伊五七、戸伊七四、戸伊七五、
戸伊二三、戸伊二二、戸伊一七
戸掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、戸掃七、
掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二、掃一三、
掃一四、掃一五、掃一六、掃一七、掃一八
戸驅潜一、驅潜二、驅潜三、戸驅潜四、驅潜五、
戸驅潜六、戸驅潜七、驅潜八、驅潜九、
戸驅潜一〇、驅潜一一、驅潜一二、驅潜一七、
驅潜一八
明石、宗谷、攝津、佐多、尻矢、鳴戸

【航海中】

戸夕立 (五日吳發—作業地へ)
國後 (六日作業地發—佐世保へ)
戸沖島 (十一日作業地發—横須賀へ)
早鞆 (十一日大湊發—舞鶴へ)
比叡 (十三日佐伯發—佐世保へ)
伊五二 (十四日舞鶴發—吳へ)



(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第三千八百七十四號

昭和十六年八月十八日(月)

海軍大臣官房

○令 達

海軍大臣

官房第四三九八號

部外ヨリ購入ノ船艇一隻ヲ雜役船ニ編入シ其ノ公稱番
號、船種、所屬等ヲ左ノ通定ム

昭和十六年八月十八日

海軍大臣

公稱番號 船種 所屬 別定數 記 事

第三三三號	運貨船	舞鶴海軍港務部	定數	新潟縣植村市外新田海
	(ダルマ型)		補充	岸ニ坐洲セルモノヲ購
	(甲五噸級)		入	整備セルモノ

(八月十五日公報(部内限)中正誤参照)

官房第四三九九號

吳海軍港務部保管中ノ軍艦妙高還納内火ランチ一隻ヲ
雜役船ニ編入シ其ノ公稱番號、船種、所屬等ヲ左ノ通
定ム

昭和十六年八月十八日

公稱番號	船種	所屬	別定數	記 事
第二八六號	内火ランチ	横須賀潜水艦基地隊	臨時	軍艦妙高還納
	(九米)		附屬	ノモノ(L七二)

○通 牒

官房機密第七四三五號

昭和十六年八月十六日

海軍次官

各 應 長 殿

乗用自動車ノ使用制限ニ關スル件申進

乗用自動車用石油ノ節約ニ關シテハ從來數次ノ消費規
正強化ニ依リ逐次其ノ實効ヲ舉ゲ來リツツアル處情勢
ノ變轉ハ一層之ガ徹底ヲ要スルニ至レルニ鑑ミ今般次
官會議ニ於テ官應用乗用車ノ使用制限ニ關シ別紙ノ通
決定セラレ候ニ付在京海軍官廳ニ於テハ別紙竝ニ左記
各號ニ據リ又地方各廳ニ於テハ之ニ準ジ爲シ得ル限リ

海軍公報(部内限) 第三千八百七十四號

昭和十六年八月十八日

一〇七九

0503

使用制限ヲ行ヒ海軍トシテ一律ニ率先垂範ノ實ヲ示スニ遺憾ナキヲ期セラレ度
 追テ外地ニ在リテモ作戰其ノ他ノ任務遂行上重大ナル支障ナキ限リ極力右ノ趣旨ニ副ヒ燃料消費節約ヲ勵行相成度

記

- 一、各廳ニ於ケル通常物品タル使用乗用自動車(概ネ現在數ノ二分ノ一)ハ速ニ代燃車ニ改造ス
- 二、九月一日以後當分ノ間少將級以下職員通常出勤時ノ自宅又ハ最寄驛送迎ヲ廢ス
- 三、公用ト雖不急ノ場合ハ徒歩又ハ公共交通機關利用ヲ勵行ス
- 四、別紙中第二號廳名ノ標示ニ關シテハ概ネ現狀通トシテ標示不充分ナルモノハ明瞭ナル記號ニ改ム
- 五、別紙中第四號使用車輛中代燃車ニ改造セザルコトヲ得ルモノハ中將級以上ノ專用車ノミトス

(別紙)

官應用乗用車ノ使用制限ニ關スル件

昭和十六年八月七日
次官會議決定

國際情勢ノ激變ニ伴ヒ最近自動車用揮發油ニ關シ更ニ

強度ノ消費規正實施サレ民間自動車特ニ乗用車ニ關シテハ揮發油ノ配給ヲ全面的ニ停止シ代燃車以外ノ車輛ノ使用ヲ禁止スルニ至ルヲ以テ各廳ハ右ニ即應シ官應用乗用車ニ關シテ左記ニ依リ使用制限ヲ行ヒ以テ率先垂範ノ實ヲ示スモノトス

- 一、使用輛數ハ現在輛數ノ概ネ二分ノ一ヲ目標トシテ別表ノ通トシ其レ以上ノ輛數ハ使用セザルコト(別表省略)
- 二、使用車輛ニハ大臣、次官用又ハ之ニ準ズルモノヲ除キ必ズ其ノ所屬官廳名ヲ標示スルコト
- 三、使用車輛ト雖モ特ニ必要ナル場合以外ニハ使用セザルコト
- 四、使用車輛ハ特殊ノモノヲ除キ總テ代燃車ニ依ルコトトシ揮發油ノ使用ハ之ヲ停止スルコト但シ應急用トシテ若干ノ揮發油ヲ配給スルコト
- 五、使用輛數ニ達スル迄ノ代燃車轉換ハ優先的ニ之ヲ認ムルコトトシ右轉換期間ハ四ヶ月トシ此ノ期間内ニ限リ使用輛數中ノ代燃未完了車ニ對シ若干ノ揮發油使用ヲ認ムルコト
- 六、地方官公署用乗用車ニ關シテモ中央官廳ニ準ズル

0504

コトトシ關係各廳ニ於テ指導スルコト
七、右各項ハ九月一日ヨリ之ヲ實施スルコト

官房第四四〇〇號

昭和十六年八月十八日

海軍省 副官

關係各廳長殿

事變關係市外通話優先取扱ニ關スル件通牒

昭和十四年三月三十日附官房第一六四號首題通牒中左

記ノ通改メ候

記

相手廳名	電話番號	相手廳名	電話番號
大井海軍航空隊 (假稱)	金谷 二一六番	海軍省	銀座 自三一二番 至三二二番
		鎮守府	横須賀 二番
		鈴鹿海軍航空隊	白子 一六一番

○ 辭 令

海軍大佐 堀江義一郎(艦 本)

- (各通)
- 同 海軍中佐 高次貫一(二三番艦)
 - 同 佐藤 佐(艦 本)
 - 同 廣岡 忠男(同)
 - 同 長澤 浩(軍 令)
 - 同 内田定五郎(航 本)
 - 同 竹大孝志(艦 本)
 - 同 森 實(軍 令)
 - 同 南 六右衛門(軍 務)
 - 同 岩島 二三(艦 本)
 - 同 野村 勝(佐 鎮)
 - 同 海軍少佐 野村 勝(佐 鎮)
 - 同 海軍機關大佐 大江 秀三(艦 本)
 - 同 海軍機關中佐 森本 芳夫(佐 艦)
 - 同 濱野 軍一(二三番艦)
 - 同 小山 清行(艦 本)
 - 同 奥田 増藏(佐 鎮)
 - 同 田中 千春(軍 務)
 - 同 海軍軍醫大尉 西尾 博(二三番艦)
 - 同 海軍主計少佐 中村 守男(同)
 - 同 海軍造船少佐 山口 宗夫(艦 本)
 - 同 海軍造船大尉 三嶋 忠雄(佐 廠)
 - 同 海軍造兵大尉 中村 猛雄(艦 本)

海軍公報(部内限)第三千八百七十四號

昭和十六年八月十八日

一〇八一

0505

海軍豫備大尉 星野謙三郎(〇三番艦)
第一〇〇三番艦審議委員ヲ命ス(伊予海軍艦政本部)

○ 雜 款

○將旗一時移揚
第一遣支艦隊司令長官ハ八月十四日將旗ヲ一時漢口方面特別根據地隊司令部ニ移揚セリ

○旗艦變更
第二水雷戰隊司令官ハ八月十四日旗艦ヲ朝潮ヨリ神通ニ變更セリ

0506

○艦船所在

指[▲]定[▲]ヲ[▲]要[▲]セ[▲]ズ

八月十八日午前十時

【横須賀】

春日▲、劍崎▲、山城▲、神威、常磐、翔鶴、能登呂▲、▷沖島

伊一六、伊四、伊五、伊九、伊二四、伊一九、伊一五、伊一八、伊三一

【長浦】

津輕▲、(伊二三)▲、(伊三三)▲、(伊三七)▲、(伊六六)▲、萩風▲

【芝浦】

知床

【横濱】

(筑紫)▲、(秋雲)▲

【浦賀】

石垣

【館山】

大泊 ▲ 驅潛一五、驅潛一三、驅潛一四

【大湊】

【吳】 淺間▲、八雲▲、鬼怒、阿武隈、摩耶、加古、北上、古鷹、大井、千代田

【吳】

夏潮、▷初雪、白雪、吹雪、▷夕霧、朝霧、天霧、狭霧

【伊六八】

伊六八、伊七三、伊七二、伊七二、伊五六、伊六九

【伊五五】

伊五五、伊五五、伊二三、伊七〇、伊五九

【伊六九】

驅潛特五一▲、驅潛特五二▲、驅潛特五三▲、哨四六▲、哨三四、哨三五

【大阪】

櫻野、隱戸、石廊、尻矢、野島

【神戸】

(日進)▲、(伊二七)▲、(伊三五)▲、(伊七六)▲、(瑞鶴)▲、(伊良湖)▲、(伊一〇)▲、(伊二五)▲、(伊三)▲、(伊四二)▲、(伊一一)▲

【相生】

驅潛一九▲、(伊六〇)▲、伊六六

【相玉】

驅潛二〇▲、伊六六

【德山】

朝日、早鞆

【別府灣】

那智

【佐世保】

鳳翔、▷由良

【舞鶴】

夕風、黒潮、伊二、伊六一、伊六二、伊六四、伊六五、哨三、哨三三、哨三三

【佐世保】

室戸、間宮

【佐世保】

吾妻▲、木曾、龍田、▷多摩

【佐世保】

薄雲▲

【佐世保】

鳩、鷺

【佐世保】

呂三四▲、哨三六▲、哨三七▲

海軍公報(部内限) 第三千八百七十四號

昭和十六年八月十八日

一〇八三

0507

【鎮海】

【作業地】

(伊二四)▲、(伊二九)▲、(伊三九)▲
 野分、朝顔、芙蓉、舞風
 驅潜一六
 宇治、安宅、二見、伏見、比良、熱海、
 鳥羽、勢多、堅田、保津、隅田、足柄、
 八丈、古守、嵯峨、橋立、磐手、名取、
 長門、陸奥、日向、伊勢、扶桑、榛名、
 金剛、川内、高雄、鳥海、愛宕、衣笠、
 青葉、妙高、羽黑、熊野、三隈、最上、
 鈴谷、利根、筑摩、那珂、長良、
 嚴島、八重山、長鯨、初鷹、白鷹、蒼鷹、
 鹿島、天龍、夕張、迅鯨、香取、
 大鯨、五十鈴、赤城、蒼龍、龍驤、
 千歲、瑞穂、球摩、勝力、香椎、神通、
 駒橋
 栗、梅、遊、刈萱、秋風、太刀風、春風、
 羽風、朝風、旗風、松風、文月、草月、
 水無月、長月、曉、響、雷、潮、曙、朧、
 漣、吳竹、早苗、若竹、綾波、磯波、
 敷波、浦波、若葉、初霜、子日、初春、
 大潮、荒潮、夏雲、峯雲、朝雲、山雲、
 朝潮、早潮、親潮、雪風、時津風、
 天津風、初風、霞、不知火、霞、陽炎、
 村雨、五月雨、春雨、海風、江風、山風、
 涼風、谷風、浦風、磯風、濱風、汐風、
 帆風、矢風、追風、疾風、夕風、朝風、
 如月、彌生、神風、沼風、野風、波風、
 滿潮、菊月、夕月、卯月、峯風、沖風、

【航海中】

鵠、鴻、隼、鴨、雁、雉、真鶴、初雁、
 友鶴、千鳥
 呂六三、呂六四、呂六八、呂六五、呂六六、
 呂六七、伊二、伊一、伊三、伊六、伊七、
 伊八、伊二〇、伊五八、伊五七、伊七四、
 伊七五、伊二三、伊二二、伊一七
 掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、掃七、
 掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二、掃一三、
 掃一四、掃一五、掃一六、掃一七、掃一八
 驅潜一、驅潜二、驅潜三、驅潜四、驅潜五、
 驅潜六、驅潜七、驅潜八、驅潜九、
 驅潜一〇、驅潜一一、驅潜一二、驅潜一七、
 驅潜一八
 明石、宗谷、攝津、佐多、鳴戶、鶴見
 (五日吳發—作業地へ)
 國後 (六日作業地發—佐世保へ)
 比叡 (十三日佐伯發—佐世保へ)
 伊五 (十四日舞鶴發—吳へ)
 望月 (十四日作業地發—佐世保へ)
 襟裳 (十六日舞鶴發—佐世保へ)
 瑞鳳、三日月 (十六日佐世保發—作業地へ)



(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第三千八百七十五號

昭和十六年八月十九日(火)
海軍大臣官房

○令 達

官房第四四一五號

昭和十四年官房第一九九六號單獨艦艇ニ限リ會計事務用品ヲ供給、直買スルノ件中海軍醫務制規ノ行ヲ削ル

昭和十六年八月十九日

海軍大臣

(總務用品 取扱例規二九四頁参照)

○通 牒

官房第四四一六號

昭和十六年八月十九日

各 應 長 殿
海 軍 次 官

國債買入ニ關スル件通牒

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通大藏次官ヨリ依頼有之候ニ付、テハ可然勸奨方取計相成度

(別紙)

藏理第九六八九號

昭和十六年七月三十一日

大藏次官 谷口 恒二

海軍次官 澤本頼雄殿

國債ノ消化ニ關シテハ毎回多大ノ御配慮相煩シ以御蔭良好ナル成績ヲ收メ居候コトハ邦家ノ爲洵ニ慶賀ノ至ニ存候

然レドモ國際情勢ノ推移、事變處理ノ進展等ニ伴ヒ、尙引續キ相當多額ノ國債ノ發行ヲ見ルベキハ寔ニ已ムヲ得ザル所ニシテ此ノ國債ノ圓滑ナル消化ヲ圖ルコトコソハ我國財政經濟ノ運営上刻下喫緊ノ要務ニ有之候就テハ來ル八月二十二日ヨリ九月二日迄實行ノ第二十三回支那事變國債ノ郵便局賣出ニ際シテハ貴管下各方面ニ對シ舉ツテ右國債ヲ購入シ國債消化ノ上ニ十分時艱分擔ノ精神ヲ發揮セシムル様特ニ御配慮相煩度此段及御依頼候也

海軍公報 (部内限) 第三千八百七十五號

昭和十六年八月十九日

一〇八五

0509

官房機密第七四七七號

昭和十六年八月十八日

海軍省 副官

關係各廳長殿

防衛總司令部令制定ノ件通牒

陸軍ノ防衛總司令部令別紙ノ通制定セラレ候

追テ

一、海軍ニ於ケル國土防衛ニ關スル編制制度ニハ

變更無之候

二、大本營海軍參謀一名大本營陸軍參謀ヲ兼務シ

大本營陸軍參謀ノ資格ニ於テ防衛總司令部參謀

ヲ兼務スルコトニ定メラレ候

(別紙)

陸密第一九七〇號

防衛總司令部令制定ノ件通牒

昭和十六年七月八日

陸軍次官 木村 兵太郎

海軍次官 澤本頼雄殿

防衛總司令部令別紙ノ通制定セラレタルニ付及通牒候也

追テ本件ハ當分ノ間祕密ノ取扱ヲ爲サレ度申添候

朕防衛總司令部令ヲ制定シ之ガ施行ヲ命ズ

御名 御璽

昭和十六年七月五日

陸軍大臣 東條 英機

軍令陸第十三號

防衛總司令部令

第一條 防衛總司令官ハ陸軍大將又ハ陸軍中將ヲ以テ

之ニ親輔シ 天皇ニ直隸シ内地、朝鮮、臺灣及樺太

ノ防衛ニ任ズ

第二條 防衛總司令官ハ防衛ニ關シ東部、中部、西部、

北部、朝鮮及臺灣各軍司令官並ニ第一飛行集團長ヲ

指揮ス

第三條 前條ノ規定ニ依リ兵力ヲ使用シタル場合ニ於

テハ直ニ之ヲ陸軍大臣及參謀總長ニ報告シ且關係所

管長官ニ通報スベシ

第四條 防衛總司令官ハ防衛ニ關スル演習ノ爲内地、

朝鮮、臺灣又ハ樺太ニ在ル部隊ヲ使用スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ當該部隊ノ所管長官ト豫メ協議スベシ

0510

<p>第五條 防衛總司令官ハ軍政及人事ニ關シテハ陸軍大臣、作戰計畫ニ關シテハ參謀總長ノ區處ヲ承クルモノトス</p> <p>第六條 總參謀長ハ防衛總司令官ヲ輔佐シ且總司令部内ノ業務整理ノ責ニ任ズ</p> <p>第七條 參謀、副官及附ハ總參謀長ノ命ヲ承ケ各擔任ノ業務ヲ掌ル</p> <p>第八條 准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ニ從事ス</p>	<p>教育機密第一九七號</p> <p>昭和十六年八月十八日</p> <p>海軍省 教育局長</p> <p>各鎮守府艦隊要港部參謀長殿</p> <p>士官對策進達期日ニ關スル件申進</p> <p>近年首題對策中ニハ直ニ翌年度教育訓練ノ計畫竝ニ實施上極メテ有効ナル資料トナルモノ多數有之候ニ就テハ軍隊教育規則第四十八條ノ規定ニ拘ラズ出來得ル限リ早期進達ノコトニ取計相成度</p>
<p>(各通)</p> <p>海軍大佐 堀江義一郎(艦本)</p> <p>海軍中佐 田中正雄(同)</p> <p>海軍少佐 塚田重夫(立石)</p> <p>海軍機關中佐 山本良材(艦本監)</p> <p>海軍機關少佐 山上實(艦本)</p> <p>海軍技師 菅繁(義(艦本監))</p> <p>同 上羽助太郎(同)</p> <p>電纜敷設艇立石審議委員ヲ命ス(海軍艦政本部)</p> <p>海軍機關大佐 山下茂治</p> <p>在大阪監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ</p> <p>海軍技師 安室信平</p> <p>技術部第一課勤務ヲ命ス</p> <p>主トシテ在東京監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ</p> <p>海軍技手 菊田巳之吉</p> <p>補給部附兼技術部第一課附第二課附第三課附ヲ命ス</p> <p>同 平山茂</p> <p>在大阪監督長ノ命ヲ承ケ服務シ兼テ在神戸監督長在名古屋監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ</p> <p>同 太田正之</p> <p>在東京監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ</p>	<p>○ 辭令</p>

海軍公報(部内限)第三千八百七十五號

昭和十六年八月十九日

一〇八七

0511

(各通)

同 阿部 好一
同 殿川 豊

技術部第三課勤務ヲ命ス

主トシテ在東京監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

海軍技手 浅川 博一郎

兼テ在東京監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(以上八五)

海軍航空本部)

○雜款

○將旗移揚

第六根據地隊司令官ハ八月十五日將旗ヲ陸上應舎ニ移揚セリ

○將旗復歸

第三遣支艦隊司令長官ハ將旗ヲ磐手ヨリ陸上應舎ニ復歸セリ

○司令驅逐艦復歸

第四驅逐隊司令ハ八月十六日司令驅逐艦ヲ嵐ニ復歸セリ

○司令潜水艦一時變更

第八潜水隊司令ハ八月十七日司令潜水艦ヲ一時伊號第

六潜水艦ヨリ伊號第四潜水艦ニ變更セリ

○郵便物發送先

當隊宛郵便物ハ自今左記ニ依リ發送相成度(七月一日本欄參照)

記

司令、軍醫長、主計長宛

機關長宛

四十二號砲艦

四十一號砲艦

(第四砲艦隊)

當隊宛郵便物ハ自今左記ニ依リ發送相成度

記

司令、主計長、隊宛

隊機關長、軍醫長宛

長田丸

朝海丸

追テ當隊宛ノモノニシテ各艦ニ關係アルモノハ寫一通各艦宛直送相成度

(第八砲艦隊)

○練習生試験問題ニ關スル件照會

當隊行動ノ關係上首題試験ハ概ネ單獨實施ノ豫定ニ付左記各艦宛可及の速ニ(航空便利用等)直送方取計相成度

記

長田丸、生田丸、大同丸、朝海丸

(第八砲艦隊)

○ 艦船所在

▲印ハ「ハホ」指定ヲ要セズ

八月十九日午前十時

【横須賀】

春日▲、劍埼▲、山城▲、神威、▷常磐、翔鶴、能登呂▲、沖島

【津浦】

伊一六、伊四、伊五、伊九、伊二四、伊一九、伊一五、伊一八、伊三二

【長浦】

津輕▲(伊三)▲、(伊三)▲、(伊三七)▲、(伊三七)▲

【横濱】

筑紫▲、(秋雲)▲

呂六二▲、呂六二▲

哨一▲、哨二▲

【浦賀】

秋雲▲

【館山】

澤風▲

【大湊】

石垣▲

【吳】

驅潜一五、驅潜二三、驅潜二四

淺間▲、八雲▲、鬼怒、阿武隈、摩耶、加古、北上、古鷹、大井、千代田、▷龍驤

夏潮、▷初雪、白雪、吹雪、▷夕霧、朝霧、天霧、狹霧、矢風

呂五七▲、呂五八▲、呂五九▲、▷伊五三▲

伊五四、伊五五▲、伊一三▲、伊七〇、伊六八、▷伊七三、伊七一、伊七二、伊五六、伊六九、伊五二

驅潜特五二▲、驅潜特五三▲、驅潜特五三▲

哨四六▲、哨三四、哨三五

【大阪】

櫻野、隱戸、石廊、尻矢、日進▲(伊二七)▲、(伊三五)▲、(伊七六)▲、驅潜二二▲

【神戸】

瑞鶴▲(伊良湖)▲、(伊二〇)▲、(伊二五)▲、(伊三)▲、(伊四)▲、(伊一一)▲、驅潜一九▲

【相生】

伊六〇▲、伊六六

【徳山】

驅潜二〇

【別府】

朝日、早鞆

【佐伯】

那智、由良

【舞鶴】

黑潮

【佐世保】

伊二二、▷伊六一、伊六二、伊六四、▷伊六五、哨三二、哨三三、哨三三

【加賀】

吾妻▲、木曾、龍田、▷多摩、薄雲▲

【白霧】

呂三四▲

【有明】

夕雲▲、哨三六▲、哨三七▲

【東雲】

加賀、出雲、飛龍、霧島、國後、白霧、有明、夕暮、時雨、▷白雲、東雲、叢雲

【敷島】

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、▷呂三三▲、呂六〇、伊五九▲、哨三九、哨三八

海軍公報(部内限)第三千八百七十五號

昭和十六年八月十九日

一〇八九

0513

【鎮海】

(伊二四)▲、(伊二九)▲、(伊三九)▲
野分、朝顔、芙蓉、舞風

【作業地】

宇治、安宅、二見、伏見、比良、熱海、
鳥羽、勢多、堅田、保津、阴田、足柄、
八丈、占守、嵯峨、橋立、磐手、名取、
長門、陸奥、日向、伊勢、扶桑、榛名、
金剛、川内、高雄、鳥海、愛宕、衣笠、
青葉、妙高、羽黑、熊野、三隈、最上、
鈴谷、利根、筑摩、那珂、長良、
嚴島、八重山、長鯨、初鷹、白鷹、蒼鷹、
鹿島、天龍、夕張、迅鯨、香取、
大鯨、五十鈴、赤城、若龍、千歲、
瑞穂、球摩、勝力、香椎、神通、風翔、
駒橋

栗、梅、蓮、刈萱、秋風、太刀風、春風、
羽風、朝風、旗風、松風、文月、皐月、
水無月、長月、曉、響、雷、潮、曙、
漣、吳竹、早苗、若竹、綾波、磯波、
敷波、浦波、若葉、初霜、子日、初春、
大潮、荒潮、夏雲、峯雲、朝雲、山雲、
朝潮、早潮、親潮、雪風、時津風、
天津風、初風、霞、不知火、霞、陽炎、
夕立、村雨、五月雨、春雨、海風、江風、
山風、涼風、谷風、浦風、磯風、濱風、
追風、疾風、夕風、朝風、霞風、
彌生、神風、沼風、野風、波風、如月、
菊月、夕月、卯月、峯風、沖風、夕風

【航海中】

比叡 (十三日佐伯發—佐世保へ)
望月 (十四日作業地發—佐世保へ)
襟裳 (十六日舞鶴發—吳へ)
瑞鳳 (十八日佐世保發—作業地へ)
野島 (十八日大湊發—佐伯へ)
大泊 (十八日大湊發—作業地へ)

鷗、鴻、隼、鴨、雁、雉、真鶴、初雁、
友鶴、千鳥

呂六三、呂六四、呂六八、呂六五、呂六六、
呂六七、伊二、伊一、伊三、伊六、伊七、
伊八、伊二〇、伊五八、伊五七、伊七四、
伊七五、伊二三、伊三二、伊一七、
伊六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、掃七、
掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二、掃一三、
掃一四、掃一五、掃一六、掃一七、掃一八

驅潜一、驅潜二、驅潜三、驅潜四、驅潜五、
驅潜六、驅潜七、驅潜八、驅潜九、
驅潜一〇、驅潜一一、驅潜一二、驅潜一七、
驅潜一八

明石、宗谷、攝津、佐多、鳴戸、鶴見

0514

(限 内 部)



海軍公報 (部内限) 號外

○ 雜 款

○ 懲 罰

懲罰言渡書

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十六年八月十九日(火)
海軍大臣官房

0515

海軍公報 (部内限) 號外

0516

海軍公報 (部内限) 號外

三

0517

海軍公報 (部内限) 號外

四

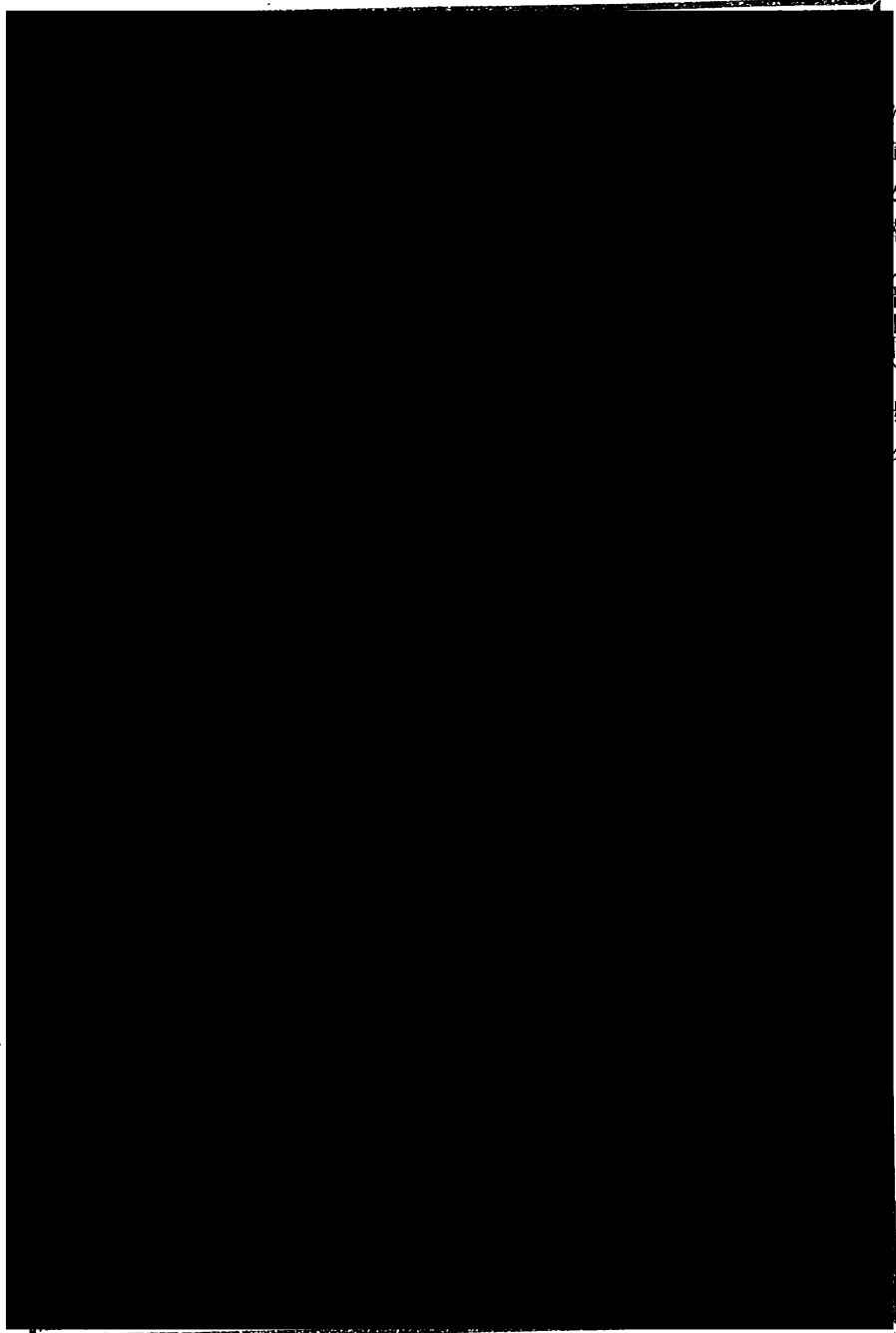
0518

海軍公報 (部内限) 號外

五

0519

海軍公報
(部内限)
號外



六

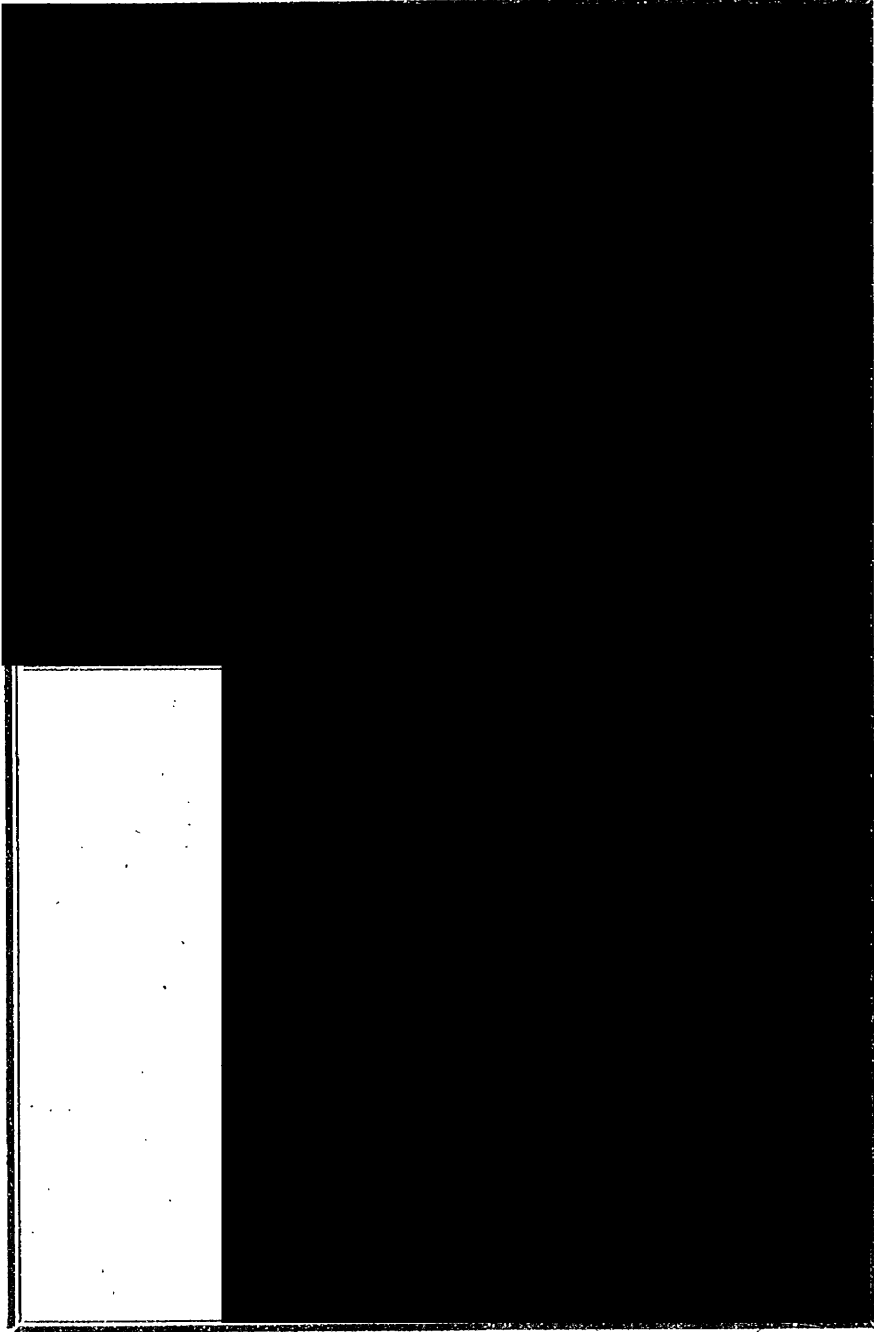
0520

海軍公報 (部内限) 號外

七

0521

海軍公報
(部内限)
號外



八

0522

(限 内 部)

海軍公報

(部内限)第三千八百七十六號

昭和十六年八月二十日(水)

海軍大臣官房

○通牒

官房機密第七五二〇號

昭和十六年八月十九日

海軍次官

横須賀、吳、各鎮守府司令長官殿
佐世保、舞鶴

航空機搭乗員養成計畫ニ關スル件申進

航空機搭乗員タルベキ海軍練習航空隊學生練習生及豫科練習生ノ出入等ニ關シテハ從來各部ノ連絡ニ依リ實行セラレ居リシ處練習航空隊數ノ増加、養成員數ノ膨張等ニ依リ且教程ガ横須賀鎮守府及吳鎮守府ニ跨ル特殊性ヨリ生ズル養成計畫事務ハ益々複雑ト爲リツツアルニ鑑ミ自今養成計畫中左記事項ニ關シテハ當分ノ間海軍航空本部長ヲシテ關係各部ニ通牒セシメラルルコトニ定メラレ候

記

學生練習生種別	通牒事項
飛行科豫備學生	專修別員數ノ標準
飛行練習生	一、專修及特修別員數ノ標準
飛行科豫備練習生	二、各練習航空隊入出隊期及入隊員數ノ標準
飛行豫科練習生	三、派遣修業期間及派遣員數ノ標準(派遣修業施行ノ場合)
兵備三機密第八八三號	一、專修及特修別員數ノ標準
昭和十六年八月二十日	二、丙種豫科練習生ノ入隊期及各期入隊員數ノ標準
關係各廳長殿	三、卒業期(繰上卒業ノ場合)
	海軍省兵備局長

海軍公報(部内限)第三千八百七十六號

昭和十六年八月二十日

一〇九一

0523

海上情報通信網整備ニ關スル件通知

首題ノ件ニ關シ別記ノ通知有之候條了知相成度

(別記)

電規第三二二二號

昭和十六年八月九日

遞信次官

海軍次官殿

海上情報通信網整備ニ關スル件

右ニ關シ別紙寫ノ通達置候條御了知相成度

(別紙)

電規第三二二二號

昭和十六年八月九日

電務局長

漁業用陸上無線電信ノ強化ニ關スル件

現下内外ノ情勢頓ニ緊迫ヲ加ヘタルニ鑑ミ船舶秘密通信規約ニ依ル情報ノ敏速ナル蒐集並防空通信取扱ノ迅速適確ヲ期スル爲漁業用陸上無線電信ヲ強化スルコトト相成候條左記各項了知ノ上可然取計ト共ニ施設者ニ對シ豫メ通達置相成度

追テ情報ノ取扱ニ關シテハ客年六月五日電無第一四三二號通牒ニ依リ相當處理セシメラレ度

記

一、石巻燒津及戸畑ノ各無線電信取扱所ヲシテ短波ニ依ル無休執務ヲ實施セシムルコトトシ實施期日ハ別途通報スベキコト

尙狀況ニ依リ當省吏員ヲ差練リ派遣スルコトアルベキコト

二、左ノ漁業用無線電信ヲ公衆通信ニ供用スルコトトシ豫メ相當通達相成タキコト

尙右實施確定ノ上ハ別途其ノ旨通牒セラルト共ニ當省無線吏員ヲ差練リ派遣シ中波ニ依ル無休執務ヲ實施セシムル豫定ナルコト

鉦路市水産會施設私設無線電信 鉦路郵便局

千葉縣知事施設私設無線電信 千葉郵便局

神奈川縣知事施設私設無線電信 横須賀郵便局

三重縣知事施設私設無線電信 山田郵便局

室戸浦漁業協同組合施設私設無線電信 高知郵便局

宮崎縣知事施設私設無線電信 宮崎郵便局

鹿兒島縣知事施設私設無線電信 鹿兒島郵便局

海士町漁業組合施設私設無線電信

金澤郵便局

- 三、前號ノ派遣吏員ハ各下記郵便局臨時在勤トシ當該無線電信取扱所駐在ヲ命ゼラルル豫定ナルコト
- 四、新ニ公衆通信ニ供用スルコトトナリタル無線電信取扱所ニ於テハ少クトモ船舶秘密通信規約ニ依ル電報及防空電報ヲ取扱ヒ施設者ノ希望ニ依リ他ノ公衆通信ヲ取扱ヒ差支ナキコト
- 尚本件取扱所設置ニ關スル告示等ハ省略セララルルニ付實施決定ノ上ハ適當ナル周知方法ヲ講ゼラレタキコト
- 五、昭和十五年六月五日電無第一四三二號通牒第一ノ五及六ニ依リ貴官ニ於テ指定セラレタル電信局所ニ對シテハ特ニ行違ナキ様此ノ際重ネテ示達シ本件電報ノ速達ヲ期セラレタキコト
- 六、本件無線電信取扱所ニシテ一般公衆通信ヲ取扱ハザルモノニ對シテハ防空通信取扱所ニ供用シタル場合ニ交付スル事業用物品ノ外之ガ交付ヲ要セザルコト
- 七、本件取扱所以外ノ船舶秘密通信規約ニ定ムル漁業用無線電信ニ對シテモ此ノ際極力聽取ヲ勵行セシメ

情報ノ速達ヲ圖ラレタキコト

○ 辭 令

(通各)	
貳千圓	澤 勝 藏
千八百圓	東京市技師 鷹田 正人
千六百五拾圓	東京市技師 海 市 藏
千五百四拾圓	名古屋市技師 水野 太賀
千四百七拾圓	東京市技師 中村 武夫
千四百七拾圓	東京市技師 田中 丈夫
千四百七拾圓	岸田 龜二
千四百七拾圓	岩間 仲義
千四百四拾圓	山内 誠二
千參百貳拾圓	東京市技師 尾崎 登
千貳百八拾圓	東久世 秀禰
千百八拾圓	名古屋市技師 高木 四郎
千百參拾圓	澤田 正一
千八拾圓	市川 準一
千八拾圓	關 達夫
千八拾圓	前原 大二郎
千八拾圓	板垣 勇雄

海軍公報(部内限)第三千八百七十六號

昭和十六年八月二十日

一〇九三

0525

千八拾圓

石井 幸

正四位勳二等 河田 嗣郎

徵用中年額各頭書ノ通ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

海軍省事務ヲ囑託シ部内限勅任官待遇トス

(各通)

陸軍主計中尉 山本 央次

加茂 謙

(各通)

陸軍主計少尉 関 口 實

海軍省兵備局ニ於ケル事務ヲ囑託シ報酬年額千貳百圓ヲ給ス

東港海軍航空隊齒科治療業務ヲ囑託ス
但シ報酬年額千五百九拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(以上各同)

田中雄次郎

海軍中佐 吉田 英三

海軍省兵備局ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千貳百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(以上各同)

○ 雜 款

臺灣總督府交通局技師 山下 繁造

同 和 田 廣

同 谷 口 廣三

臺灣總督府地方技師 竹 村 俊一

同 阿 部 貞壽

(各通)

同 祐 村 巖

臺灣總督府交通局技師 濱 崎 優二

同 神 村 孝太郎

臺灣土木技師 青 島 勝三

馬公海軍建築部ニ於ケル事務ヲ囑託ス

○司令潜水艦一時變更
第三潜水隊司令ハ八月十四日司令潜水艦ヲ一時伊號第二十二潜水艦ヨリ伊號第二十一潜水艦ニ變更セリ

○旗艦變更
第十九戰隊司令官ハ七月九日旗艦ヲ常磐ニ變更セリ

第三遣支艦隊司令長官ハ八月十七日將旗ヲ磐手ヨリ陸上應舍ニ復歸セリ

○將旗復歸
第一遣支艦隊司令長官ハ八月十七日將旗ヲ宇治ニ復歸セリ

○郵便物發送先
 本月二十二日以後當隊宛郵便物ハ本隊殘留隊ノ區別ナク各原隊宛發送相成度

○航空便利用ニ關スル件照會
 内地方面ヨリ當地宛郵便物ハ普通郵便ニ依ル時ハ一ヶ月半乃至二ヶ月ヲ要シ事務處理上支障甚ダシキニ付自今特殊ノモノヲ除キ全部航空郵便ニテ發送相成度
 追テ當方面航空便ハ當分ノ間毎月第一、二、三水曜横濱發ニ付爲念
 (南洋群島在勤海軍武官府)

○事務所設置
 若鷹艦裝具事務所ヲ八月十四日播磨造船所内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

○寶洋丸行動豫定

地名	着	發
吳ノ川	八月十三日	八月十三日
鹿濱	八月十八日	八月十六日
横濱	八月十九日	八月十九日
吳崎	八月二十三日	八月二十一日

海軍公報(部内限)第三千八百七十六號 昭和十六年八月二十日

一〇九五

0527

○ 艦船所在

▲印ハ「ハホ」ノ指定ヲ要セズ

八月二十日午前十時

【横須賀】

春日▲、劍崎▲、山城▲、神威、▷常磐、翔鶴、能登呂▲、沖島

▷汐風、帆風

伊一六、伊九、伊二四、伊一九、伊一五、伊一八、伊三三

知床

(津輕)▲(伊三三)▲(伊三三)▲(伊三七)▲

【長浦】

蔚▲、萩風▲

哨一▲、哨二▲

【横濱】

(筑紫)▲

【浦賀】

(秋雲)▲

【館山】

澤風

【大湊】

石垣

【吳】

驅潜一五、驅潜二三、驅潜一四

淺間▲、八雲▲、鬼怒、阿武隈、摩耶、加古、北上、古鷹、大井、千代田、▷龍驤

夏潮、▷初雪、白雪、吹雪、▷夕霧、朝霧、天霧、狹霧、矢風

呂五七▲、呂五八▲、呂五九▲、▷伊五三▲、伊五四▲、伊五五▲、伊七〇▲、伊六八▲、▷伊七三、伊七一、伊七二、伊五六、▷伊六九、伊五二

驅潜特五一▲、驅潜特五二▲、驅潜特五三▲、哨四六▲、哨三四、哨三五

櫻野、隱戸、石廊、尻矢

(日進)▲(伊二七)▲(伊三五)▲(伊七六)▲

【大阪】

(驅潜二)▲

【神戸】

(瑞鶴)▲(伊良湖)▲(伊一〇)▲(伊一五)▲

【相生】

(伊三)▲(伊四)▲(伊一)▲

【相玉】

(驅潜一九)▲

【德山】

(伊六〇)▲(伊六六)

【別府灣】

朝日、早霜

【佐伯】

黑潮

【舞鶴】

伊二、▷伊六一、伊六三、伊六四、▷伊六五、哨三、哨三三、哨三三

【佐世保】

吾妻▲、木曾、龍田、▷多摩

【相模】

薄雲▲

【佐賀】

加賀、山雲、飛龍、霧島、國後

【佐世保】

白霧、有明、夕暮、時雨、▷白雲、東雲、叢雲、▷若葉、初霜、子日、初春、望月、陸月

【佐世保】

呂三〇▲、呂三二▲、呂三三▲、▷呂三三▲、呂六〇、呂六一▲、呂六二▲、▷伊五九▲

【佐世保】

哨三九、哨三八

【佐世保】

敷島▲

海軍公報(部内限)第三千八百七十六號

昭和十六年八月二十日

一〇九七

0528

【鎮海】野分、朝顏、芙蓉、舞風

【作業地】宇治、安宅、二見、伏見、比良、熱海、

鳥羽、勢多、堅田、保津、岡田、足柄、

八丈、占守、嵯峨、橋立、磐手、名取、

長門、陸奥、日向、伊勢、扶桑、榛名、

金剛、川内、高雄、鳥海、愛宕、衣笠、

青葉、妙高、羽黒、熊野、三隈、最上、

鈴谷、利根、筑摩、那珂、長良、

嚴島、八重山、長鯨、初鷹、白鷹、蒼鷹、

大鯨、五十鈴、赤城、迅鯨、香取、

瑞穂、球磨、勝力、香椎、神通、鳳翔、

駒橋、

栗、梅、蓮、刈萱、秋風、太刀風、春風、

羽風、朝風、旗風、松風、文月、皐月、

水無月、長月、曉、響、雷、電、潮、

漣、吳竹、早苗、若竹、綾波、磯波、

敷波、浦波、大潮、荒潮、夏雲、峯雲、

朝雲、山雲、朝潮、早潮、親潮、雪風、

時津風、天津風、初風、霞、不知火、

霞、陽炎、夕立、村雨、五月雨、春雨、

磯風、江風、山風、涼風、谷風、浦風、

磯風、濱風、追風、疾風、夕風、朝風、

如月、彌生、神風、沼風、野風、波風、

滿潮、夕風、神風、沼風、野風、波風、

夕風、

鵠、鴻、隼、鵠、雁、雉、真鶴、初雁、

【航海中】

比叡 (十三日佐伯發一佐世保へ)

襟裳 (十六日舞鶴發一吳へ)

瑞鳳 (三日月、十六日佐世保發一作業地へ)

大泊 (十八日大湊發一作業地へ)

伊五 (十八日横須賀發一作業地へ)

伊二三 (十九日吳發一作業地へ)

野島 (十九日作業地發一横須賀へ)

友鶴、千鳥

呂六三、呂六四、呂六八、呂六五、呂六六、

呂六七、伊二、伊一、伊三、伊六、伊七、

伊八、伊二〇、伊五八、伊五七、伊七四、

伊七五、伊二三、伊三一、伊一七、

伊四

掃六、掃一、掃三、掃四、掃五、掃七、

掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二、掃一三、

掃一四、掃一五、掃一六、掃一七、

掃一八

驅潛一、驅潛二、驅潛三、驅潛四、驅潛五、

驅潛六、驅潛七、驅潛八、驅潛九、

驅潛一〇、驅潛一一、驅潛一二、驅潛一七、

驅潛一八

明石、宗谷、攝津、佐多、鳴戸、鶴見



(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十六年八月二十日(水)
海軍大臣官房

○ 通 牒

軍需糧第一四三號

昭和十六年八月十九日

海軍省軍需局長
海軍省經理局長

關係各廳長殿

生獸魚肉換給品ノ量額ニ關スル件通牒

本年官房第三八四三號ヲ以テ生獸魚肉等ノ給與ニ關スル件發令相成候處生獸魚肉換給品ノ量額ハ左記ニ依ル
コトニ一定セラレ候

追テ海軍給與令施行細則第二十表ノ二主食品ノ項記事ノ欄第七號(2)、同表備考第一三號、第二十一表備考
第四號、昭和十二年官房機密第三一四二號及昭和十三年官房第四五七六號第二號(3)中獸鳥魚肉罐詰、獸鳥
魚肉類ノ量額モ左記割合ニ依ル義ト御承知相成度

記

海軍公報 (部内限) 號外

0530

第二十表 該當ノ分				第二十表ノ二 該當ノ分			
規定品種	量額	換給品種	量額	規定品種	量額	換給品種	量額
骨付生魚肉	一六〇	骨付生魚肉	一〇〇	無骨生魚肉	一二〇	燻魚肉	一〇〇
骨付生獸肉	一三五	骨付生鳥肉	七〇	無骨生獸肉	一一〇	鹽魚肉	一一〇
		骨付鹽獸肉	八〇			乾魚肉	七〇
		無骨生魚肉	九〇			罐詰味付魚肉	一〇〇
		無骨鹽獸肉	九〇			罐詰魚肉	一〇〇
		無骨生魚肉	九〇			無骨生魚肉	一二〇
		罐詰味付獸肉	九〇			骨付生魚肉	一六〇
		罐詰鳥肉	九〇			粉末鶏卵	二七
		罐詰味付鳥肉	九〇			鶏卵	一〇〇
		罐詰魚肉	九〇			燻獸肉	八〇
		罐詰味付魚肉	九〇			無骨鹽獸肉	一一〇
		燻獸肉	八〇			骨付鹽獸肉	一三五
		乾魚肉	七〇			罐詰味付鳥獸肉	一〇〇
		雞卵	一〇〇			罐詰鳥獸肉	一〇〇
						無骨生獸鳥肉	一三〇
						骨付生獸鳥肉	一三五

0531

海軍公報 (部内限) 號外

三

(参照) 昭和十二年八月十四日、昭和十三年九月七日及昭和十六年七月十七日海軍公報

燒鹽
魚魚
肉肉
一 一
〇 〇
燻
魚
肉
八
〇

0532

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第三千八百七十七號

海軍大臣官房

昭和十六年八月二十一日(木)

○令 達

官房機密第七五九四號

左記ノ者附記品種ニ限リ當分ノ間海軍購買廳ニ於ケル指名競争契約ノ入札又ハ隨意契約ノ見積加入ヲ停止ス

昭和十六年八月二十一日

海 軍 大 臣

記

一、「メトロ」電氣工業株式会社

東京市澁谷區向山町六〇

海軍購買名簿第四類第三〇項

瓦斯填充タングステン電球

(一六〇「ワット」未滿)

海軍購買名簿第四類第三一項

真空タングステン電球

(六〇「ヴォルト」ヲ超ユルモノ若
ハ五燭ヲ超ユルモノ)

但シ海軍購買名簿品名ハ五〇「ヴォルト」ヲ超ユ

○辭 令

ルモノトナレルモ六〇「ヴォルト」迄ハ差支ナキ
ニ付六〇「ヴォルト」トセリ

海軍主計少佐 兒 玉 茂

艦隊經費主任出納官吏ヲ命ス

同 茶 谷 東 海

艦隊經費主任出納官吏ヲ免ス(以助支出官 海軍省經
理局長)

○雜 款

○司令驅逐艦一時變更

第四驅逐隊司令ハ八月十九日司令驅逐艦ヲ一時嵐ヨリ
萩風ニ變更、同日復歸セリ

○司令掃海艇變更

第十六掃海隊司令ハ八月十六日司令掃海艇ヲ第二玉岡
丸ニ變更セリ

海軍公報(部内限) 第三千八百七十七號

昭和十六年八月二十一日

一〇九九

0533

○郵便物發送先
今般本隊原隊へ復歸ニ付自今當隊宛郵便物ハ左記ニ依
リ發送相成度

臺灣高雄州東港、東港海軍航空隊

(東港海軍航空隊)

○事務所設置
新竹海軍航空隊(假稱)設立準備員事務所ヲ七月二十
九日臺南海軍航空隊(假稱)設立準備員事務所内ニ設
置シ事務ヲ開始セリ

○事務所撤去
第二十一號驅潛艇艇裝員事務所ヲ八月二十日撤去セリ

○學生入校期
本年九月任命サルベキ本校第二二期選修學生ハ同月
二十二日入校式豫定ニ付身體檢査ノ都合上同月十九日
迄ニ着校セシメラレ度
追而江田島ニ於テハ住宅拂底ニ付家族ヲ同時ニ移轉
セシメザル様御配慮相成度
(海軍兵學校)

○正誤
昨二十日本欄郵便物發送先末尾ニ「第二十四航空戰
隊」ヲ脱ス

0534

○ 艦船所在 ▲印ハ「ハホ」ノ指定ヲ要セズ

八月二十一日午前十時

【横須賀】

春日▲、劍埼▲、山城▲、神威、▷常磐、翔鶴、能登呂▲、沖島

▷汐風、帆風、▽大潮、荒潮、朝潮、満潮

伊二六、伊九、伊三四、伊一九、伊一五、伊一八、伊二三

知床、野島

【長浦】▽嵐▲、萩風▲
(津輕)▲(伊三三)▲(伊三三)▲(伊三七)▲

哨一▲、哨二▲

【横濱】

筑紫▲

【浦賀】

秋雲▲

【館山】

澤風

【大湊】

石垣

【吳】

▽驅潜二五、驅潜一三、驅潜一四

淺間▲、八雲▲、鬼怒、阿武隈、摩耶、加古、北上、古鷹、大井、千代田、▷龍驤、熊野、三隈、最上、鈴谷

夏潮、▽初雪、白雪、吹雪、▽夕霧、朝霧、天霧、狹霧

▽呂五七▲、呂五八▲、呂五九▲、▽伊五三▲、伊五四▲、伊五五▲、伊七〇▲、伊六八▲、▽伊七三▲、伊七一▲、伊七二▲、伊五六▲、▽伊六九▲、伊五二▲

▽驅潜特五三▲、驅潜特五一▲、驅潜特五二▲、哨四六▲、哨三四▲、哨三五

【大阪】

櫻野、隱戸、石廊、尻矢

【神戸】

矢風

【相生】

瑞鶴▲、(伊良湖)▲、(伊一〇)▲、(伊二五)▲、(伊三三)▲、(伊四二)▲、(伊一一)▲

【相玉】

伊六〇▲、伊六六

【徳山】

朝日、早鞆

【佐伯】

黒潮

【舞鶴】

伊三二、▽伊六一、伊六二、伊六四、▽伊六五、哨三一、哨三三、哨三三

【佐世保】

室戸、間宮

【舞鶴】

吾妻、木曾、龍田、▽多摩

【佐世保】

薄雲▲、鳩、鷺

【佐世保】

呂三三▲、哨三七▲

【佐世保】

加賀、出雲、飛龍、霧島、國後、▷妙高、白露、那智

【佐世保】

▽呂六一▲、呂六二▲、▽伊五九▲、哨三九▲、哨三八

海軍公報(部内限)第三千八百七十七號

昭和十六年八月二十一日

一一〇一

0535

【鎮海】

【作業地】

敷島 ▲ (伊二四) ▲ (伊二九) ▲ (伊三九) ▲
 野分、驅潛二六、
 宇治、安宅、二見、伏見、比良、熱海、
 鳥羽、勢多、堅田、保津、岡田、足柄、
 八丈、占守、嵯峨、橋立、磐手、名取、
 長門、陸奥、日向、伊勢、扶桑、榛名、
 金剛、川内、高雄、鳥海、愛宕、衣笠、
 青葉、利根、筑摩、那珂、長良、
 嚴島、八重山、長鯨、初鷹、白鷹、蒼鷹、
 鹿島、天龍、夕張、迅鯨、香取、
 大鯨、五十鈴、赤城、蒼龍、千歳、
 瑞穂、球磨、勝力、香椎、神通、鳳翔、
 駒橋、
 栗、梅、蓮、刈萱、秋風、太刀風、春風、
 羽風、朝風、旗風、松風、文月、皋月、
 水無月、長月、曉、響、雷、潮、曙、
 漣、吳竹、早苗、若竹、綾波、磯波、
 敷波、浦波、夏雲、峯雲、朝雲、山雲、
 早潮、親潮、雪風、時津風、天津風、
 初風、霞、不知火、霞、陽炎、夕立、
 村雨、五月雨、春雨、海風、江風、山風、
 涼風、谷風、浦風、磯風、濱風、追風、
 疾風、夕風、朝風、如月、彌生、
 神風、沼風、野風、波風、菊月、夕月、
 卯月、峯風、沖風、夕風、
 鵠、鴻、隼、鴨、雁、雉、真鶴、初雁、

【航海中】

友鶴、千鳥
 呂六三、呂六四、呂六八、呂六五、呂六六、
 呂六七、伊二、伊一、伊三、伊六、伊七、
 伊八、伊二〇、伊五八、伊五七、伊七四、
 伊七五、伊二三、伊三三、伊二七、
 伊四
 掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、掃七、
 掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二、掃一三、
 掃一四、掃一五、掃一六、掃一六、掃一七、
 掃一八
 驅潛一、驅潛二、驅潛三、驅潛四、驅潛五、
 驅潛六、驅潛七、驅潛八、驅潛九、
 驅潛一〇、驅潛一一、驅潛一二、驅潛一七、
 驅潛一八
 明石、宗谷、攝津、佐多、鳴戸、鶴見
 比叡 (十三日佐伯發—佐世保へ)
 襟裳 (十六日舞鶴發—吳へ)
 瑞鳳、三月月 (十六日佐世保發—作業地へ)
 大泊 (十八日大湊發—作業地へ)
 伊五 (十八日横須賀發—作業地へ)
 伊二三 (十九日吳發—作業地へ)

0536

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第三千八百七十八號

海軍大臣官房

昭和十六年八月二十二日(金)

○ 令 達

官房第四一〇六號ノ三
昭和十六年官房第四一〇六號ニ依ル第四十一海軍軍用
郵便所ノ事務ヲ開始ス
昭和十六年八月十七日
海 軍 大 臣

(昭十六年七月三十一日本欄参照)

○ 通 牒

官房第四四六一號

昭和十六年八月二十二日

海 軍 省 副 官

關係各廳長殿

療養ニ關スル處置命令實施人員調査ニ關
スル件照會

首題ノ件ニ關シ厚生省ヨリ別紙乙號ノ通照會有之候ニ
付テハ昭和十六年度貴廳ニ於ケル體力検査ニ關スル處
置命令實施人員(昭和十六年七月七日海軍公報(部内
限)號外「海軍ニ於ケル國民體力法施行要覽」第二十
四號參照)ニ付別紙甲號様式ニ依リ十月末日現在ニテ
資料調製ノ上十月七日迄ニ醫務局長宛送付相成度
(別紙二葉添)

航本機密兵飛第九二〇號

昭和十六年八月二十一日

海軍航空本部長

横須賀、吳、
佐世保、舞鶴、
大湊、鎮海、馬公、
海軍軍需部長殿

兵器組替整理ノ件通牒(飛行長主管)

在庫竝ニ供用中ノ左記上段兵器ヲ下段ノ通組替整理ス
ベシ

記

海軍公報(部内限) 第三千八百七十八號

昭和十六年八月二十二日

一一〇三

0537

上	下	記
假稱九式二五番通 常爆彈	九式二五番通 常爆彈	<p>軍令部出仕海軍中佐 瀬戸喜久太</p> <p>第二部第三課勤務ヲ命ス(以上軍令部)</p> <p>調査課勤務ヲ命ス(以上海軍大臣官房)</p> <p>囑託 河田 嗣郎</p> <p>海軍機關中佐 山田 定智(二三番艦)</p> <p>(各通) 海軍軍醫大尉 鍋 島 勉(同)</p> <p>海軍主計大尉 大野 嘉久藏(同)</p> <p>第一〇三番艦審議委員ヲ命ス</p> <p>海軍機關中佐 濱野 軍一</p> <p>(各通) 海軍軍醫大尉 西 尼 博</p> <p>海軍主計少佐 中村 守男</p> <p>第一〇〇三番艦審議委員ヲ免ス(以上以上海軍艦政本部)</p> <p>海軍大佐 山本 親雄</p> <p>總務部第一課勤務ヲ命ス(以上海軍航空本部)</p>
假稱九式二五番通 常爆彈	九式二五番通 常爆彈	
假稱九式六番通 常爆彈	九式六番通 常爆彈	
假稱九式二五番陸 用爆彈	九式二五番陸 用爆彈	
假稱九式二五番陸 用爆彈	九式二五番陸 用爆彈	
假稱九式二五番陸 用爆彈	九式二五番陸 用爆彈	
假稱九式七番六号 爆彈	九式七番六号 爆彈	
假稱九式七番六号 爆彈	九式七番六号 爆彈	
假稱九式二五番通 彈底發火裝置	九式二五番通 彈底發火裝置	
假稱九式二五番通 彈底發火裝置	九式二五番通 彈底發火裝置	

○ 辭 令

海軍少將 田 結 稜

横須賀鎮守府軍法會議判士ヲ命ス(以上海軍省)

○ 雜 款

○ 永久服役
左記ノ者ハ八月二十一日海軍武官服役令第八條ノ規定ニ依ル現役ニ服セシメラル

記

海軍主計大尉	金子清三郎
同	中野達一
同	妹尾盛男
同	立花忠輝
同	伊東英麿
同	石川誠二
同	三輪禮二
同	春日紀三夫
海軍主計中尉	松井紀三夫
同	淺井壽收
同	嘉屋實
同	鈴木勝
同	奥村彌治
同	紀村友輔
同	泉光秋
同	山田國弘
同	山田弘
同	替地平八
同	中山平八
同	羽仁謙三

○書類竝ニ郵便物表記方ニ關スル件
 驅逐艦嵐ト山嵐トハ字體見誤易キ爲メ書類ノ誤送不達
 等甚ダ多ク事務處理上遺憾ニ不届候條書類及郵便物ノ

發送ニ當リテハ其ノ表記ニ十分注意相成度
 追テ事故防止ノ爲自今左ノ通艦名ニ振假名ヲ添付相
 成度
 「驅逐艦 嵐」
 (第四驅逐隊)

○事務所撤去
 第二十號驅潛艇艇裝員事務所ヲ八月二十日撤去セリ

○國洋丸行動豫定

地名	着	發
吳地	八月十六日	八月十六日
鹿ノ川	八月十九日	八月十八日
四市	八月二十四日	八月二十三日
吳山	八月二十六日	八月二十五日
德市	八月二十八日	八月二十七日
四市	九月二日	八月三十一日
吳市		

海軍公報(部内限)第三千八百七十八號

昭和十六年八月二十二日

一一〇五

0539

(別紙甲號)

昭和十六年度療養ニ關スル處置命令實施人員調											
昭和 年 月 日 現在											
病 年 齡 區 分	受 險 者 總 數	名	結 核 性 疾 患				花 柳 病				合 計
			肺 結 核	肋 膜 炎	其 結 核 他 ノ 核	計	微 毒	淋 病	軟 性 下 疳	第 四 性 病	
15 歳											
16 歳											
17 歳											
18 歳											
19 歳											
合 計											

備考 前年度ヨリ引續キ療養指導中ノ者ハ本表ニハ算入セザルモノトス

(昭和十六年八月二十二日海軍公報 (部内限))

0540

(別紙乙號)

體發第三四五號

昭和十六年七月十日

(昭和十六年八月二十二日海軍公報(部内限))

厚生省體力局長

海軍省軍務局長
海軍省醫務局長 殿

陸海軍ノ事業ニ使用セラルル被管理者ノ療養ニ關スル處置命令ニ關スル件

國民體力法施行令第十九條第一項ノ規定ニ依リ陸海軍ノ事業場ノ長ニ於テ行フ療養ニ關スル處置命令ニ關シテハ本年三月二日附厚生省發體第一六號ヲ以テ厚生次官ヨリ通牒ノ次第モ有之候處本年度體力檢査ニ基ク療養ニ關スル處置命令實施人員ニ付テハ別記様式(省略)ニ依リ集計ノ上月末日現在ニ於テ十一月十日迄ニ御回報相煩度

尙右回報後新ニ處置命令ヲ爲シタル者ニ付テハ其ノ月末日現在ニ於テ追加回報方御取計相煩度

0541

○ 艦船所在 ▲印ハ「ハホ」ノ指定ヲ要セズ

八月二十二日午前十時

【横須賀】

春日▲、劍崎▲、山城▲、神威、▷常磐、翔鶴、能登呂▲、沖島、▷五十鈴

▷汐風、帆風、▷大潮、荒潮、朝潮、満潮、曙

伊二六、伊九、伊二四、伊一九、伊一五、伊一八、伊三、伊三、伊一、伊三、伊三

知床、野島

津輕▲、(伊三)▲、(伊三)▲、(伊三七)▲

【長浦】

嵐▲、萩風▲

【横濱】

(筑紫)▲

【浦賀】

(秋雲)▲

【大湊】

石垣

【吳】

驅潜一五、驅潜二三、驅潜一四

淺間▲、八雲▲、鬼怒、阿武隈、摩耶、加古、神通、北上、古鷹、大井、千代田、龍驤、▷熊野、三隈、最上、鈴谷、黒潮、▷早潮、親潮、夏潮、▷初雪、白雪、吹雪、▷夕霧、朝霧、天霧、狹霧

呂五七▲、呂五八▲、呂五九▲、伊五三▲、伊五四、伊五五、伊七〇、伊六八、伊七七、伊七一、伊七二、伊五六、伊六九、伊五二、驅潜二〇、驅潜二二、驅潜特五一▲、驅潜特五二▲、驅潜特五三▲

【大坂】

哨四六▲、哨三四、哨三五、櫻野、石廊、尻矢、襟裳

【神戶】

(日進)▲、(伊二七)▲、(伊三五)▲、(伊七六)▲、矢風

【相模】

(瑞鶴)▲、(伊良湖)▲、(伊一〇)▲、(伊二五)▲、(伊三一)▲、(伊四一)▲、(伊一一)▲、(驅潜一九)▲

【徳山】

伊六〇▲、伊六六

【舞鶴】

伊六一、伊六二、伊六四、伊六五、哨三一、哨三三、哨三三

【佐世保】

室戸、間宮、吾妻▲、木曾、龍田、口多摩、薄雲▲、鷓、鷓

【夕雲】

呂三四▲、哨三七▲

【加賀】

加賀、出雲、飛龍、霧島、國後、▷妙高、羽黒、那智

【白雲】

白雲、有明、夕暮、時雨、▷白雲、東雲、叢雲、▷若葉、初霜、子日、初春、望月、陸月

海軍公報(部内限) 第三千八百七十八號

昭和十六年八月二十二日

一一〇七

0542

【鎮海】

(伊二四)▲(伊二九)▲(伊三九)▲

野分、朝顔、芙蓉、舞風

【作業地】

宇治、安宅、二見、伏見、比良、熱海、勢多、堅田、保津、隅田、足柄、占守、嵯峨、橋立、磐手、名取、陸奥、日向、伊勢、扶桑、榛名、長門、川内、高雄、鳥海、愛宕、衣笠、金剛、利根、筑摩、那珂、長良、青葉、八重山、長鯨、初鷹、白鷹、蒼鷹、嚴島、天龍、夕張、迅鯨、香取、鹿島、赤城、蒼龍、千歲、瑞穂、大鯨、勝力、香椎、鳳翔、駒橋、球摩、蓮、刈萱、秋風、太刀風、春風、梅、朝風、旗風、松風、文月、皐月、羽風、無月、曉、響、雷、湖、水無月、吳竹、早苗、若竹、綾波、磯波、敷波、浦波、夏雲、峯雲、山雲、雪風、時津風、天津風、初風、霰、不知火、霞、陽炎、夕立、村雨、五月雨、春雨、海風、江風、山風、涼風、谷風、浦風、磯風、濱風、追風、疾風、夕風、朝風、如月、彌生、神風、沼風、野風、波風、菊月、夕月、卯月、峯風、沖風、夕風

鵠、鴻、隼、鴨、雁、雉、真鶴、初雁、友鶴、千鳥、呂六三、呂六四、呂六八、呂六五、呂六六、

【航海中】

呂六七、伊六、伊七、伊八、伊二〇、伊五八、伊五七、伊七四、伊七五、伊二三、伊二二、伊一七、伊四、伊六、掃一、掃三、掃四、掃五、掃七、掃八、掃九、掃〇、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、掃六、掃一五、掃二六、掃一七、掃一八、驅潜一、驅潜二、驅潜三、驅潜四、驅潜五、驅潜六、驅潜七、驅潜八、驅潜九、驅潜一〇、驅潜一一、驅潜一二、驅潜一七、驅潜一八、明石、宗谷、攝津、佐多、鳴戸、鶴見、大泊

比叡 (十三日佐伯發—佐世保へ)
瑞鳳 (三日月—十六日佐世保發—作業地へ)
伊五 (十八日横須賀發—作業地へ)
伊二三 (十九日吳發—作業地へ)
早柄 (二十一日徳山發—「オハ」へ)

0543